
愛 死

渡邉 愛希翔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛 死

【Nコード】

N 5 4 8 9 M

【作者名】

渡邊 愛希翔

【あらすじ】

愛 芸術 オブジェ 死体 少年

死ね

そんな言葉をもう何回聞いたことだろうか。

どうしても好きになれないな。

みんな

人が死ぬという事が良くわかっていない。

気軽に死ねという言葉を使う。

どうしてだろう。

人を殺した事が無いからだろうか？

僕のクラスには虐めツ子がいた。

その子達は良く死ねといった。

とても気軽に、

朝の挨拶代わりだと言わんばかりに、

何の容赦もなく。

人肌はこんなにも脆く、

その下に這う血は、

こんなにも欲情させるのに。

体を形作る白い骨は、

こんなにもザラザラして、

美しいのに。

濁った白い眼球は、

こんなにも愛おしい球体なのに。

食欲や性欲なんてカスだ。

ねえ、そうだろう？

僕は後ろにいた虐めッ子に聞いてみる。

みんなどうしてそんな蒼白ッて言葉が似合う顔をしているんだらう。

今、

虐めッ子の一人を綺麗で愛おしいオブジェに変えてみた。

こんなにも愛しく、

美しいのに、

どうしてそんなに汚いものを見るような眼で見るの？

そうか！

オブジェじゃなくて、

僕がけがれているんだ！

別に良いや。

僕は今、

とてもきれいな物を見れているんだから……

この世界でボクにしかできない。

このオブジェを愛する事は

そうこのオブジェを、

アイシテあげる事は……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5489m/>

愛 死

2011年10月7日10時07分発行